

ピマーイ国立博物館

ピマーイ国立博物館は、ナコーンラッチャシーマー県ピマーイ郡ナウムアン準郡内、ムーン川近くのターソンクラーン通りにある。ナコーンラッチャシーマー市内中心から59キロ、ピマーイ遺跡公園から東北へ300メートルに位置する。

博物館の歴史

当博物館は、1964年にタイ国文化省芸術局考古部のもとで、屋外博物館として設立された。当時は、ピマーイ遺跡公園の復元の際に出土した考古品及び東北部の様々なところからの収集品が収蔵・展示されていた。その後、1975年に国立博物館部所属の東北地方南部国立博物館となった。

1989年芸術局は、博物館学に基づくピマーイ国立博物館の改修のために「王室プロジェクト(イサーン緑化計画)」に予算を要求し、展示館、事務所、会議室が建設された。1993年8月4日、シリントーン王女殿下が正式に博物館を開館なさった。

現在、ピマーイ国立博物館には、ナコーンラッチャシーマー県、チャイヤブーム県、プリーラム県のムーン・シー川流域(イサーン南部)に繁栄したイサーン文化における3,000年前の先史時代から現在までの歴史的及び考古学的遺品が展示され、多種多様な知識の宝庫となっている。



ピマーイ国立博物館

ナコーンラッチャシーマー県ピマーイ郡ナウムアン準郡ターソンクラーン通り30110
電話番号 +66 (0) 4447 1167
www.finearts.go.th/Phimai_museum
www.facebook.com/PhimaiNationalMuseum

教育に関するサービス

- 博物館の案内
- 映画・スライド
- 教育講座
- 特別展示
- 館外展示
- 教育資料

開館時間

開館日 水曜～日曜 9:00～16:00
休館日 月曜、火曜、祝日

入場料

タイ人 20 バーツ
外国人 100 バーツ



国立博物館
ピマーイ



Fine Arts Department of Thailand



赤色土器
 古墳時代 2,000～2,200年頃
 発掘場所: ドンコング(チャシーマー)県ノ
 ーンスン郡(バンブラーサート)



金属斧
 古墳時代 2,500～1,500年頃
 発掘場所: ドンコング(チャシーマー)県ノ
 ーンスン郡(バンブラーサート)



パナスバティーの上に立つ仏像
 ドンコング(チャシーマー)県、8～9世紀
 発掘場所: チョーンラック(チャシーマー)県
 紀カマイ郡(アサット)ヒママイ



瞑想する仏陀像
 ドンコング(チャシーマー)県、7～8世紀
 発掘場所: アーンムン(チャシーマー)県



七頭のナーガに守られている仏陀像
 ロック(石)彫刻 13世紀
 発掘場所: ドンコング(チャシーマー)県ヒマ
 マイ郡(ヒママイ)郡



像の装飾品
 ロック(石)彫刻 13世紀
 発掘場所: ドンコング(チャシー
 マー)県ヒママイ郡
 一タム(バンタク)バンタク郡



**仏像(降魔成道)を描いたリンドル
(まぐさ石)**
 ロック(石)彫刻 12世紀
 発掘場所: ドンコング(チャシーマー)県ヒマ
 マイ郡(ヒママイ)郡



仏陀立像
 アニタ(青銅)像 17～18世紀
 発掘場所: チョーンラック(チャ
 シーマー)県ヒママイ郡(バンブ
 ード)



พุดกาลสุกตัม
 Pudgala Suktam Buddha image - 16c
 発掘場所: 同(チャシーマー)県

先史時代

ナコンラック(チャシーマー)県ノーンスン郡(バンブラーサート)、ナンウー(ロック)、バンノーン(ウッド)、バンナム(カオ)、ヒママイ郡(バンスアイ)などの遺跡から出土した3,000～1,800年前の考古学的遺品が展示されている。



黒色ヒママイ土器
 古墳時代 2,500～1,500年頃
 発掘場所: ドンコング(チャシーマー)県

ドヴァーラヴァティー美術

ドヴァーラヴァティー美術及び文化は、タイ国の歴史時代初期に興った。インドの仏教の影響を受けて、主に上座部仏教が信奉され、7～11世紀タイの中部地方で繁栄した。その文化は東北地方南部まで及び、ムーン川中流域のナコンラック(チャシーマー)県とプリーラム(シール)流域のチャイヤブーム(県)で、ドヴァーラヴァティーの集落や環濠の跡、考古学的遺品が発見された。主な遺跡には、ナコンラック(チャシーマー)県スーンナン郡(ムアンセー)がある。



バイセーマー
 ドヴァーラヴァティー美術 8～9世紀
 発掘場所: チャイヤブーム(県)ヒママイ郡
 プーン郡

タイにおけるクメール(ロップリー)美術

カンボジアのクメール美術は、8～13世紀にタイの中部地方、東部地方、北部地方南部、東北地方(イサーン)に影響を及ぼした。一方、東北地方南部では、クメール文明が紀元前後10～13世紀に栄え、ムアン郡(プラサート・バナム)郡、スーンナン郡(プラサート・ムアンケーク)、ナコンラック(チャシーマー)県(プラサート・ヒママイ)、チャラーム(プラキア)郡(プラサート・バナム)、プリーラム(プラーコン)郡(チャイ)郡(プラサート・ムアンタム)などが建立された。以上の場所では、考古学的遺品が出土している。



ヴィシュヌ神の化身を描いたリンドル(まぐさ石)
 ロック(石)彫刻 10世紀
 発掘場所: ナコンラック(チャシーマー)県ヒママイ郡(アサット)郡



仏教儀式用の金箱
 ロック(石)彫刻 11～12世紀
 発掘場所: プラーラム(プラーコン)郡(チャイ)郡(プラサート・ムアンタム)郡



ガネーシャ
 ロック(石)彫刻 10世紀
 発掘場所: アーンムン(チャシーマー)県
 アンタム郡

アユタヤ美術及びバンコク美術

13世紀になってクメール文化が衰退すると、14世紀初頭以降、ラーンサーン王朝やアユタヤ王朝、バンコク王朝の文化がこの地域にも影響を及ぼした。



旃無畏印を結仏陀像
 ラーンサーン美術 14～15世紀